

令和6年度公共事業 再評価諮問箇所個別資料

港湾課 港湾事業 2件

1 公共事業再評価諮問箇所一覧表、B/C の考え方

P1～

2 個別事業箇所資料

- ・ 公共事業再評価諮問箇所「継続」理由書等
- ・ 再評価対象事業箇所調書
- ・ 個別箇所説明資料

① 港湾事業（東港地区）

P4～

② 港湾事業（久原南地区）

P10～

令和6年度公共事業再評価諮問箇所一覧表

地域交流部港湾課

令和6年度公共事業再評価諮問箇所一覧表

No.	事業名	事業箇所 (地区名)	事業年度 (上段:前回) (下段:今回)	進捗率 (上段:前回) (下段:今回)	対応方針
1	港湾環境整備事業	唐津港 (東港地区)	H7~R7 H7~R12	69% 84%	継続
2	港湾整備交付金事業	伊万里港 (久原南地区)	R5~R14 R5~R13	— 11%	継続

港湾整備事業とは...

事業の目的

港湾施設(水域施設、外郭施設、係留施設、臨港交通施設及び港湾施設用地)の建設又は改良を行うことにより、港湾を利用する一般公衆の利便性の向上を図ることを目的としている。

整備前



整備後(星賀港 星賀2号物揚場)



港湾整備事業のB/Cの考え方(緑地の整備事業)

○総便益(B): 緑地整備によって得られる総便益額

(内訳)

- ・港湾周辺地域環境・景観の改善 = 背後住民の世帯数 × 支払意思額
- ・港湾周辺就労者の就労環境の改善 = 利用者数 × 支払意思額
- ・港湾旅客利用観光の改善 = 利用者数 × 支払意思額
- ・港湾来訪者の交流機会の増加 = 利用者数 × 消費者余剰

○総費用(C): 緑地整備及び維持管理に要する総費用

(内訳)

- ・事業費
- ・維持管理費

○費用便益比: 総便益(B) / 総費用(C)

※便益と維持管理費については、供用開始後50年間で算定

港湾整備交付金事業のB/Cの考え方 (臨港道路の拡幅事業)

○総便益(B)：道路整備によって得られる効果を貨幣換算した総便益
(内訳)

- ・走行時間短縮便益 = 自動車1台の時間価値 × 短縮時間 × 交通量
- ・走行経費減少便益 = 自動車1台の走行経費 × 走行距離 × 交通量
- ・交通事故減少便益 = 人身事故件数 × 人身事故1件当たり損失額

○総費用(C)：道路整備及び維持管理に要する総費用
(内訳)

- ・道路整備に要する事業費
- ・道路維持管理に要する費用
- ・道路構造物の更新に要する費用

○費用便益比：総便益(B)/総費用(C)

※便益と維持管理費は、供用開始後50年間で算定

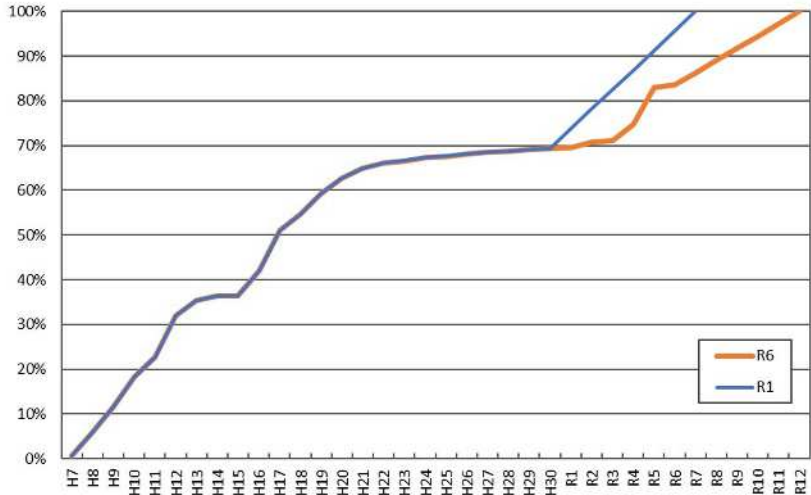
令和6年度公共事業再評価諮問箇所「継続・中止」理由書等

(課名：港湾課)

事業名 (路河川等名)	港湾環境整備事業 唐津港（東港地区）
継続・中止理由	○費用対効果について、$B/C = 1.0$以上（1.1）が確保されている。 ○事業の進捗率は、事業費ベースで約83%（22.9億円／27.5億円）である。 ○これまで広場やフェリーふ頭等の整備を行い、令和4年には緑地内に西唐津公民館が移転するなど、地元の交流場所として利活用が進んでいる。 ○今後も緑地整備を進めることで、地元はもとより広く県外や海外からの人々が日常的に集い・交流し、賑わいのあるエリアとなり、また、地域住民の安心・安全の拠点としての機能を発揮させるため、事業を継続したい。
B／Cの 算出方法	【便益】 ① 港湾周辺地域環境・景観の改善：0.2億円 ② 港湾周辺就労者の就労環境の改善：1.2億円 ③ 港湾旅客利用観光の改善：0.9億円 ④ 港湾来訪者の交流機会の増加：76.1億円 供用開始後50年の便益を算出 合計 78.4億円 【費用】 事業費：66.4億円 維持管理費：0.9億円 合計 67.3億円 【費用便益】 ・ $B/C = 78.4 / 67.3 = 1.1$ (社会的割引率4%) 【参考値】 費用便益 $B/C = 1.9$ (社会的割引率2%) 費用便益 $B/C = 2.5$ (社会的割引率1%)
備考	

令和 6 年度再評価対象箇所
(対象：令和元年度再評価実施箇所)

(再評価実施後、一定期間（5年）が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済 情 勢 等 の 変 化	費用対効果 の要因の変化	コスト削減や代替案 等 の 可 能 性	再評価理由	対応方針 (事業継続)																																																																																																															
	R1再評価時点	唐津港 港湾環境整備事業 事業主体：県 事業地：唐津市	唐津港東港地区では、平成17年改訂の港湾計画に基づき、これまでの貨物を主体とした物流空間としての整備に加え、人の集う人流空間としての機能及び災害時の避難地・救難拠点地としての機能を併せ持つ地区にするため、緑地を確保するとともに、遊歩道や広場等の整備を行う。	全体事業費：27.5億円 全体面積：5.4ha 工期：H7～ <u>R7</u> 広場工 5.4ha 芝生広場、園路、遊歩道、植樹、水路工 便益施設 休憩所、便所、遊具、駐車場 補償物件 全体16棟 うち16棟移転済み	H30末進捗率 69.4％ (事業費ベース) (年平均進捗率0.4％) 補助事業は平成21年度に完了し、その後は単独事業により継続して整備を行っている。	平成28年4月に直轄事業による耐震強化岸壁（水深-9m）が供用開始。これにより、平成28年5月に「ばしふいっくびいなす」が寄港。さらに、平成30年4月には佐賀県初の外国クルーズ船「スターレジェンド」が寄港。 平成30年5月 合同庁舎の建替完了。	唐津市内の人口減による港湾来訪者の交流機会の減少。 B/C＝1.04	(コスト削減) コンクリート2次製品や再生材を使用する。	再評価実施後5年継続	継続 これまでの整備の結果、人の集う空間としての事業効果が表れている。そのため、今後も市民が集う憩いの場や観光・交流の拠点としてより魅力ある緑地になるよう整備を継続していきたい。																																																																																																															
	R6現時点	唐津港 港湾環境整備事業 事業主体：県 事業地：唐津市	同上	全体事業費：27.5億円 全体面積：5.4ha 工期：H7～ <u>R12</u> 広場工 5.4ha 芝生広場、園路、遊歩道、植樹、水路工 便益施設 休憩所、便所、遊具、駐車場 補償物件 全体16棟 うち16棟移転済み	R6末進捗率 83.5％ (事業費ベース) (年平均進捗率2.3％) 補助事業は平成21年度に完了し、その後は単独事業により継続して整備を行っている。 (令和4・5年度は原発再稼働交付金により整備。)	令和4年11月に西唐津公民館が落成。 令和5年4月にコロナ禍で3年間休止していたクルーズ船寄港が再開。	手引き改訂に伴い、旅行費用（時間価値）を見直したことによる。 B/C＝1.1 (社会的割引率4%) 参考値 B/C＝1.9 (社会的割引率2%) B/C＝2.5 (社会的割引率1%)	同上	再評価実施後5年継続	継続 整備を進めることで、地元はもとより広く県外や海外からの人々が日常的に集い・交流し、賑わいのあるエリアとなり、また、地域住民の安心・安全の拠点としての機能を発揮させるため、事業を継続したい。																																																																																																															
理由等				当該緑地は歴史民俗資料館の移転候補地とされていたことから、地元の議論を踏まえて整備計画の見直しを行ったため。（令和4年2月に現地保存決定）	進捗率  <table><caption>進捗率データ (推定値)</caption><tr><th>年度</th><th>R1 (青線) 進捗率 (%)</th><th>R6 (オレンジ線) 進捗率 (%)</th></tr><tr><td>H7</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>H8</td><td>10</td><td>10</td></tr><tr><td>H9</td><td>20</td><td>20</td></tr><tr><td>H10</td><td>30</td><td>30</td></tr><tr><td>H11</td><td>35</td><td>35</td></tr><tr><td>H12</td><td>38</td><td>38</td></tr><tr><td>H13</td><td>38</td><td>38</td></tr><tr><td>H14</td><td>38</td><td>38</td></tr><tr><td>H15</td><td>40</td><td>40</td></tr><tr><td>H16</td><td>50</td><td>50</td></tr><tr><td>H17</td><td>60</td><td>60</td></tr><tr><td>H18</td><td>65</td><td>65</td></tr><tr><td>H19</td><td>68</td><td>68</td></tr><tr><td>H20</td><td>70</td><td>70</td></tr><tr><td>H21</td><td>70</td><td>70</td></tr><tr><td>H22</td><td>70</td><td>70</td></tr><tr><td>H23</td><td>70</td><td>70</td></tr><tr><td>H24</td><td>70</td><td>70</td></tr><tr><td>H25</td><td>70</td><td>70</td></tr><tr><td>H26</td><td>70</td><td>70</td></tr><tr><td>H27</td><td>70</td><td>70</td></tr><tr><td>H28</td><td>70</td><td>70</td></tr><tr><td>H29</td><td>70</td><td>70</td></tr><tr><td>H30</td><td>70</td><td>70</td></tr><tr><td>R1</td><td>80</td><td>80</td></tr><tr><td>R2</td><td>90</td><td>85</td></tr><tr><td>R3</td><td>100</td><td>90</td></tr><tr><td>R4</td><td>100</td><td>95</td></tr><tr><td>R5</td><td>100</td><td>100</td></tr><tr><td>R6</td><td>100</td><td>100</td></tr><tr><td>R7</td><td>100</td><td>100</td></tr><tr><td>R8</td><td>100</td><td>100</td></tr><tr><td>R9</td><td>100</td><td>100</td></tr><tr><td>R10</td><td>100</td><td>100</td></tr><tr><td>R11</td><td>100</td><td>100</td></tr><tr><td>R12</td><td>100</td><td>100</td></tr></table>			年度	R1 (青線) 進捗率 (%)	R6 (オレンジ線) 進捗率 (%)	H7	0	0	H8	10	10	H9	20	20	H10	30	30	H11	35	35	H12	38	38	H13	38	38	H14	38	38	H15	40	40	H16	50	50	H17	60	60	H18	65	65	H19	68	68	H20	70	70	H21	70	70	H22	70	70	H23	70	70	H24	70	70	H25	70	70	H26	70	70	H27	70	70	H28	70	70	H29	70	70	H30	70	70	R1	80	80	R2	90	85	R3	100	90	R4	100	95	R5	100	100	R6	100	100	R7	100	100	R8	100	100	R9	100	100	R10	100	100	R11	100	100	R12	100	100			
年度	R1 (青線) 進捗率 (%)	R6 (オレンジ線) 進捗率 (%)																																																																																																																							
H7	0	0																																																																																																																							
H8	10	10																																																																																																																							
H9	20	20																																																																																																																							
H10	30	30																																																																																																																							
H11	35	35																																																																																																																							
H12	38	38																																																																																																																							
H13	38	38																																																																																																																							
H14	38	38																																																																																																																							
H15	40	40																																																																																																																							
H16	50	50																																																																																																																							
H17	60	60																																																																																																																							
H18	65	65																																																																																																																							
H19	68	68																																																																																																																							
H20	70	70																																																																																																																							
H21	70	70																																																																																																																							
H22	70	70																																																																																																																							
H23	70	70																																																																																																																							
H24	70	70																																																																																																																							
H25	70	70																																																																																																																							
H26	70	70																																																																																																																							
H27	70	70																																																																																																																							
H28	70	70																																																																																																																							
H29	70	70																																																																																																																							
H30	70	70																																																																																																																							
R1	80	80																																																																																																																							
R2	90	85																																																																																																																							
R3	100	90																																																																																																																							
R4	100	95																																																																																																																							
R5	100	100																																																																																																																							
R6	100	100																																																																																																																							
R7	100	100																																																																																																																							
R8	100	100																																																																																																																							
R9	100	100																																																																																																																							
R10	100	100																																																																																																																							
R11	100	100																																																																																																																							
R12	100	100																																																																																																																							

令和6年度 公共事業評価監視委員会

港湾環境整備事業

からつ ひがしこう
唐津港東港地区

からつ ふたご
唐津市二太子地内

再評価理由

再評価実施後5年が経過したため

1

港湾環境整備事業について

■事業目的

東港地区を人の集う空間や災害時の避難地・救難拠点地としての機能を併せ持つ港湾とするため、遊歩道、広場、植栽、休憩所等を整備する。

■延伸の理由

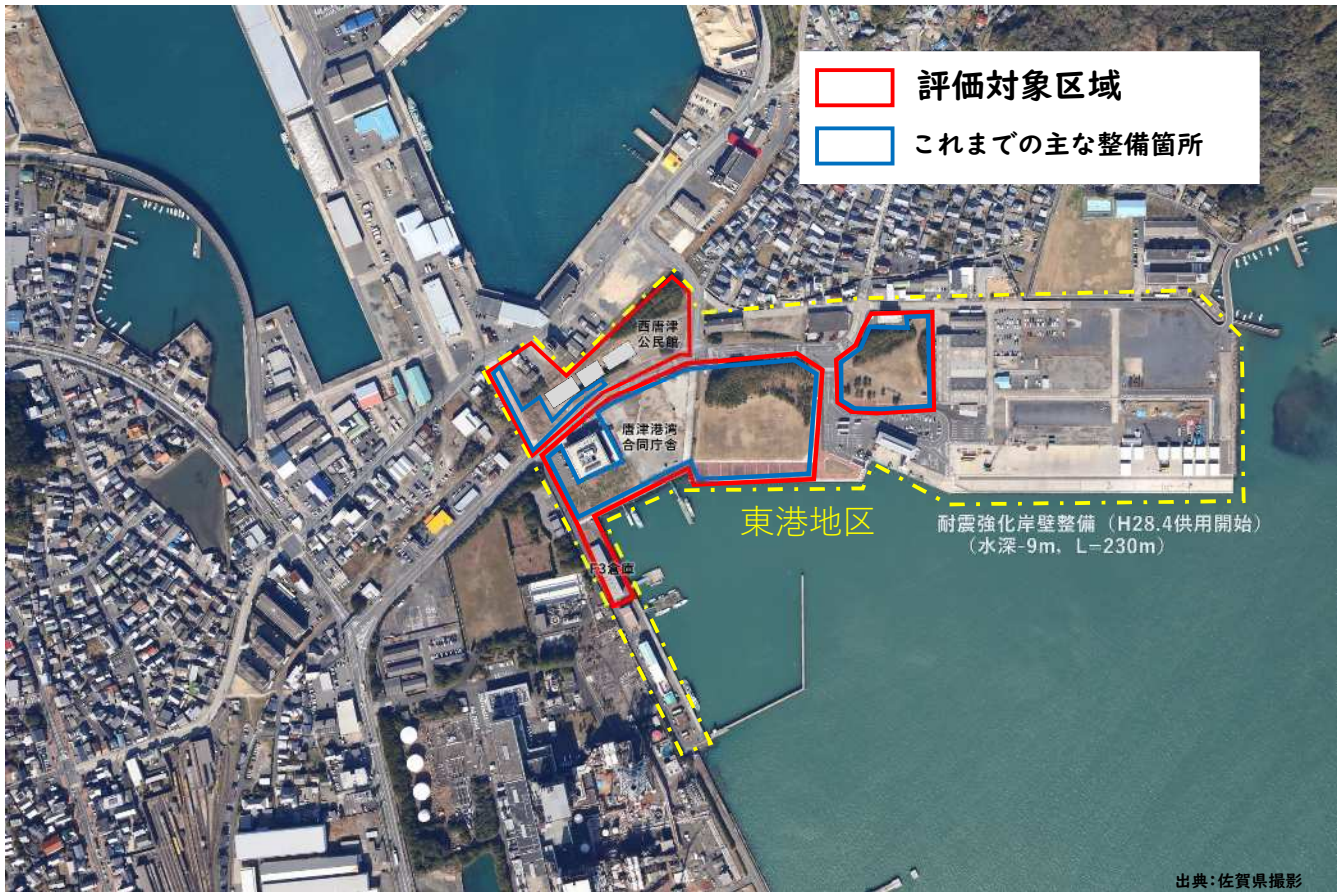
当該緑地は歴史民俗資料館の移転候補地とされていたことから、地元の議論を踏まえて整備計画の見直しを行ったため。(令和4年2月に現地保存決定)



	R1再評価	R6再評価
全体事業費	27.5億円	27.5億円
事業期間	平成7年度～令和7年度	平成7年度～令和12年度
事業内容	緑地整備	緑地整備
面積	A=54,000m ²	A=54,000m ²
費用対効果	1.04	1.1

2

唐津港(東港地区)の概要



3

事業の進捗状況



芝生広場完成 (令和6年6月)



イベント状況



イベント状況

西唐津公民館
周辺緑地 (整備中)



4

	令和5年度まで	令和6年度	令和7年度以降
事業費 (億円)	22.80	0.16	4.54
進捗 (%)	82.9	83.5	100

事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 令和4年11月 西唐津公民館落成
- 令和5年4月 コロナ禍で3年間休止していたクルーズ船寄港再開
- 令和6年10月 SAGA2024 国スポ・全障スポデモンストレーション競技 スケートボード大会開催（隣接F3倉庫）

西唐津公民館落成式



出典:佐賀県撮影

5

事業を巡る社会経済情勢等の変化

クルーズ船寄港再開（HANSEATIC NATURE 令和5年6月4日）



出典:佐賀県撮影



出典:佐賀県撮影

クルーズ船寄港再開（LE SOLEAL 令和6年4月2日）



出典:佐賀県撮影



出典:佐賀県撮影

6

費用対効果

■ B/Cは1.0を上回っている。

$$\text{費用対効果 (B/C)} = \frac{\text{総便益 (B) 78.4 億円}}{\text{総費用 (C) 67.3 億円}} = 1.1$$

※基準年（令和6年度）における現在価値

【便益B】

港湾周辺地域環境・景観の改善	= 背後住民の世帯数×支払意思額
港湾周辺就労者の就労環境の改善	= 利用者数×支払意思額
港湾旅客利用環境の改善	= 利用者数×支払意思額
港湾来訪者の交流機会の増加	= 利用者数×消費者余剰

【費用C】

事業費
維持管理費

- ・対象人口の時点更新（R6.4）
- ・手引き改訂に伴い、旅行費用（時間価値）を見直し

参考値

$$B/C(2\%) = 1.9$$

$$B/C(1\%) = 2.5$$

コスト縮減や代替案等の可能性

コンクリート2次製品や再生材を使用することで、コスト縮減を図る。

7

今後の対応方針

- 費用対効果について、B/C=1.0以上（1.1）が確保されている。
- 事業の進捗率は、事業費ベースで約83%（22.9億円／27.5億円）である。
- これまで広場やフェリーふ頭等の整備を行い、令和4年には緑地内に西唐津公民館が移転するなど、地元の交流場所として利活用が進んでいる。
- 今後も緑地整備を進めることで、地元はもとより広く県外や海外からの人々が日常的に集い・交流し、賑わいのあるエリアとなり、また、地域住民の安心・安全の拠点としての機能を発揮させるため、事業を継続したい。

8

令和6年度公共事業再評価諮問箇所「継続・中止」理由書等

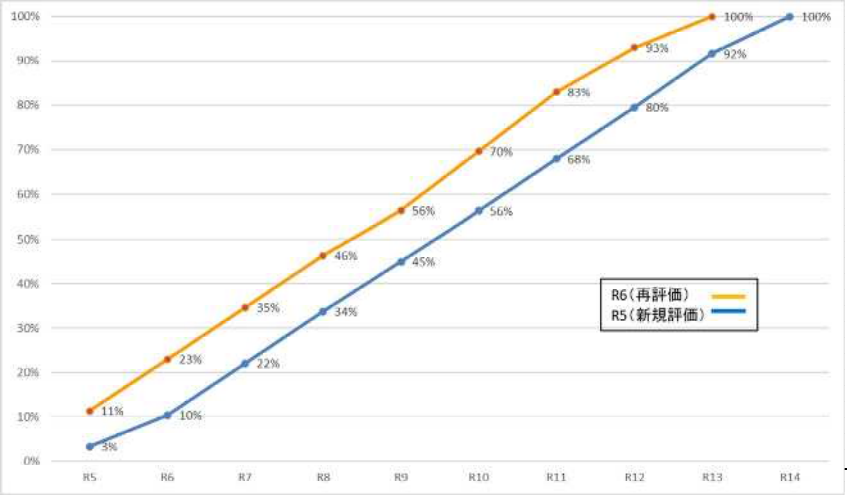
(課名：港湾課)

事業名 (路河川等名)	港湾整備交付金事業 伊万里港(久原南地区)
継続中止理由	○隣接する七ツ島地区と久原南地区往来するコンテナ車両や通勤車により特に朝夕渋滞が発生している。また、久原南地区では半導体事業者が工場の増設を予定しており、さらなる交通量増加が見込まれる ○臨港道路の整備により「交通の円滑化」が図られる。 ○費用対効果についても、$B/C = 1.0$以上(1.1)を確保 ○事業の進捗率は、事業費ベースで約11% (3.4億円/30億円)で用地進捗率は100%。 ○令和5年度に楠久津交差点付近の道路改良を完了し、交通渋滞緩和が図られたものの、瀬戸久原線入口交差点付近などでは交通渋滞が依然として発生している。 ○交通の円滑化を図るために事業を継続したい。
B/Cの 算出方法	【便益】 ・ 走行時間短縮便益 = 23.5億円 ・ 走行費用短縮便益 = 3.4億円 ・ 交通事故減少便益 = 3.8億円 - 合計 = 30.7億円 【費用】 ・ 事業費 = 24.5億円 ・ 維持修繕費 = 2.6億円 - 合計 = 27.1億円 【費用便益】$B/C = 30.7 / 27.1$ = 1.1 (社会的割引率4%) 【参考値】 - 費用便益 $B/C = 1.5$ (社会的割引率2%) - 費用便益 $B/C = 1.8$ (社会的割引率1%)
備考	

令和 6 年度再評価対象事業箇所（社会経済情勢の急激な変化等により見直しの必要が生じた事業）

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済 情勢等の変化	費用対効果	コスト削減や代替案 等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業課案)	備考
	R5新規評価時点	港湾整備交付金事業 伊万里港（久原南地区） 事業主体：県 事業地：伊万里市山代町	久原臨港道路は港湾計画で4車線の計画となっており、暫定2車線で供用している。 隣接する七ツ島地区と久原南地区往來するコンテナ車両や通勤車により特に朝夕渋滞が発生しているため、4車線化により交通の円滑化を図る。	全体事業費：24.0億円 工期：R5～R14 工事内容 延長 L=2,890m 4車線化	—	—	B/C=1.1	—	社会経済情勢の急激な変化等により見直しの必要が生じた事業	継続 令和5年度に楠久津交差点付近の道路改良を完了し、交通渋滞緩和が図られたものの、久原瀬戸線入口交差点付近などでは交通渋滞が依然として発生している。 交通の円滑化を図るために事業を継続したい。	
	R6現時点	同上	久原臨港道路は港湾計画で4車線の計画となっており、暫定2車線で供用している。 隣接する七ツ島地区と久原南地区往來するコンテナ車両や通勤車により特に朝夕渋滞が発生している。また、半導体事業者が予定している工場増設によりさらなる交通量増加が見込まれるため、4車線化により交通の円滑化を図る。	全体事業費：30.0億円 工期：R5～R13 工事内容 延長 L=2,890m 4車線化	令和5年度末進捗率11%（事業費ベース） 用地進捗率100%	令和5年度に半導体事業者が工場敷地内に新たな結晶工場整備を発表した。	B/C=1.1 （社会的割引率4%） B/Cは1.0を上回っている 【参考値】 B/C=1.5 （社会的割引率2%） B/C=1.8 （社会的割引率1%）	（コスト削減） 再生資源の利用促進を図る。 （代替案の検討） 特になし			
		理由等		（事業費） ・楠久津2号橋について下部工の補強（耐震補強）が必要となったため （事業期間） 詳細設計完了に伴いの工程を見直したため。							

項目	R5 (新規評価)	R6 (再評価)
1	3%	11%
2	10%	23%
3	22%	35%
4	34%	46%
5	45%	56%
6	56%	70%
7	68%	83%
8	80%	93%
9	92%	100%
10	100%	100%
11	100%	100%



令和6年度 公共事業評価監視委員会

港湾整備交付金事業

くばらりん こうどうろ い ま り くばらみなみ
久原臨港道路（伊万里港 久原南地区）

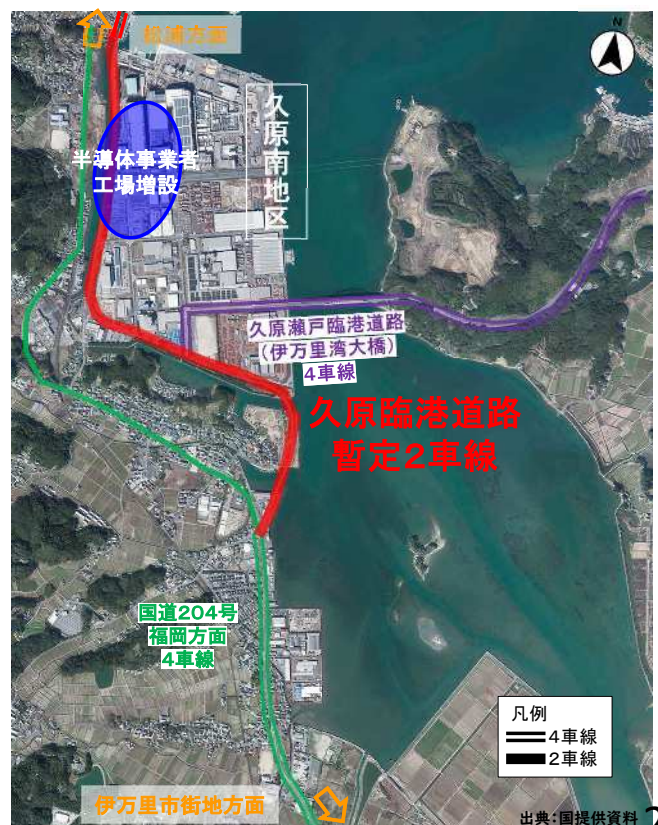
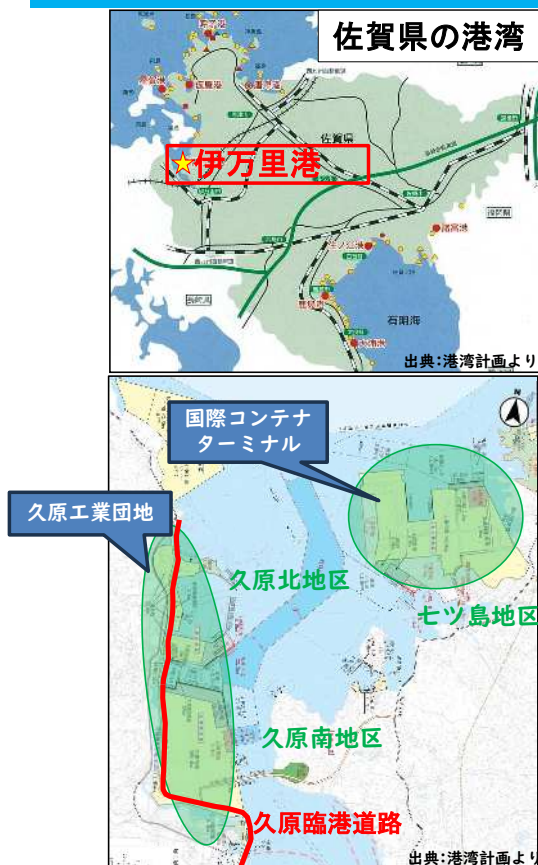
い ま り やましろ
伊万里市山代町地内

再評価理由

社会経済情勢の急激な変化等により見直しの必要が生じたため

1

位置図



事業目的



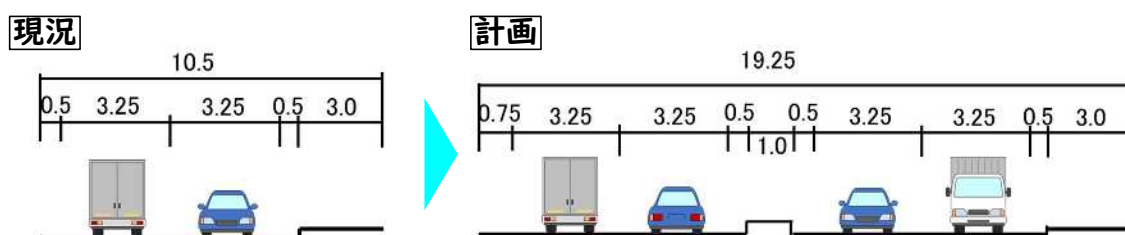
【目的】

道路の車線の数 を 2 車線 から 4 車線 に増やし交通渋滞の緩和を図る

3

事業概要

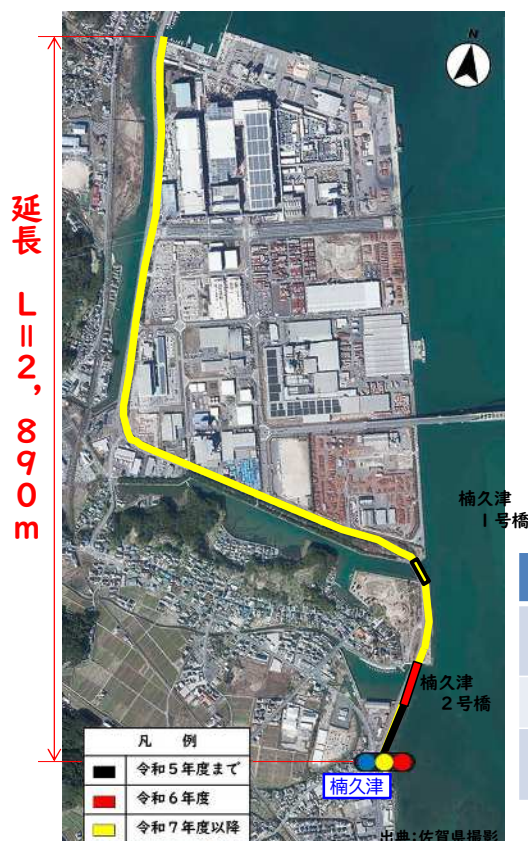
【横断図】



	当初 (R 4 新規評価)	今回 (R 6 再評価)
全体事業費	24 億円	30 億円
工期	令和5年度～令和14年度	令和5年度～令和13年度
延長	L = 2,890 m	L = 2,890 m
幅員	10.5 (19.25) m	10.5 (19.25) m
事業内容	4車線化	4車線化
費用対効果	1.1	1.1

4

事業の進捗状況



楠久津交差点部の道路改良工事



	令和5年度まで	令和6年度	令和7年度以降
事業費（億円）	3.4	3.5	23.1
進捗（％）	11.3	23.0	77.0
用地進捗率（％）	100	100	100

5

事業内容の見直し理由

（今回の見直し理由）

○橋梁の詳細設計を実施したところ、楠久津2号橋について下部工の補強（耐震補強）の必要性が確認され事業費が増となった。（+6億円）

【参考】（事業化時点の耐震補強の必要性の判断）

○楠久津2号橋について新たに設置する上部工は既設の上部工より軽くなることから、下部工の補強が必要とまでは判断できず、補強工事費は計上していなかった。



6

事業を巡る社会経済情勢等の変化

○半導体産業の投資が進む久原地区において工場増設が
予定されている。

⇒さらなる交通量の増加が見込まれる

費用対効果

○B/Cは1.0を上回っている。

※基準年（令和6年度）における現在価値

$$\text{費用対効果(B/C)} = \frac{\text{総便益(B) 30.7億円}}{\text{総費用(C) 27.1億円}} \div 1.1$$

※社会的割引率4%

【参考値】

B/C=1.5(社会的割引率2%)

B/C=1.8(社会的割引率1%)

<参考>

○総便益(B) = 走行時間短縮便益 + 走行経費縮小便益 + 交通事故減少便益

○総費用(C) = 事業費 + 維持管理費

7

コスト縮減や代替案等の可能性

(コスト縮減)

○再生資材の利用促進を図る。

(代替案の検討)

○特になし。

8

対応方針(事業課案)

- 臨港道路の整備により「交通の円滑化」が図られる。
- 費用対効果についても、 $B/C = 1.0$ 以上(1.1)を確保。
- 事業の進捗率は、事業費ベースで約11%
- 令和5年度に楠久津交差点付近の道路改良を完了し、交通渋滞緩和が図られたものの、久原瀬戸線入口交差点付近などでは交通渋滞が依然として発生している。
- 交通の円滑化を図るために**事業を継続したい**。